

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 1/8

「一刻千金」

わずかな時間が非常に価値あること

「一喜一憂」

状況が変わるたびに、喜んだり心配したりすること

「一心不乱」

一つのことに集中して、心を乱さないこと

「一心同体」

二人以上の人が心も体も一つになること

「一念發起」

あることを成し遂げようと決心すること

「一意専心」

ひたすら一つのことに心を注ぐこと

「一挙一動」

一つ一つの動作や振る舞い

「一挙兩得」

一つの行動で、二つの利益を得ること

「一攫千金」

一度に大きな利益を得ること

「一日千秋」

待ち遠しくて、一日が千年のように長く感じられること

「一期一会」

一生に一度の出会いを大切にすること

「一木一草」

一本の木や一本の草に至るまで、すべてのもの

「一汁一菜」

汁物一品と菜一品の簡素な食事

「一生懸命」

命がけで物事に打ち込むこと

「一目瞭然」

ひと目見ただけで、はっきりとわかること

「一石二鳥」

一つの行動で二つの利益を得ること

「一網打尽」

一つの網で魚を全部とるように、悪人などを一度に残ら…

「一罰百戒」

一人の罪人を罰することで、多くの人の戒めとすること

「一運托生」

善悪に関わらず運命を共にすること

「一触即発」

少しでも触れればすぐ爆発しそうな、非常に危険な状態

「一言一句」

言葉の細部に至るまで全て

「一進一退」

良くなったり悪くなったりをくり返すこと

「一部始終」

物事の最初から最後までのもすべて

「一長一短」

良いところもあれば悪いところもあること

「一騎当千」

一人で千人を相手にできるほど強いこと

「七転八倒」

激しい痛みや苦しみで、転げ回って苦しむこと

「七転八起」

何度失敗しても、くじけずに立ち上がって努力すること

「万事休す」

すべての手段が尽きて、どうにもならなくなること

「万古不易」

いつまでも変わらないこと

「万物流転」

すべてのものは絶えず変化し続けること

「三々五々」

少人数のグループが、あちこちに散らばっている様子

「三位一体」

三つの要素が一つに統合されて機能すること

「三寒四温」

冬の時期に、寒い日が三日続き、暖かい日が四日続くこと

「不倶戴天」

同じ空の下には生きられないほど、深く恨んでいる敵の…

「不偏不党」

一方に偏らず、特定の党派や立場に属さない公平な態度…

「不即不離」

つかずはなれずの関係にあること

「不撓不屈」

強い意志を持ち、どんな困難にも決してくじけないこと

「不老不死」

老いることも死ぬこともないこと

「不言実行」

あれこれ言わずに、黙ってなすべきことを実行すること

「両雄並立」

優れた二人の英雄が並んで立つこと

「中途半端」

物事がやりかけで、最後まで終わっていないこと

「主客転倒」

物事の順序や立場が逆になること

「二人三脚」

二人で協力して一つの物事に取り組むこと

「二律背反」

両立しない二つの原理が同時に成り立つこと

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 2/8

「二者択一」

二つのもののうちから一つを選ぶこと

「五穀豊穡」

五穀（主食となる穀物）が豊かに実ること

「五里霧中」

物事の判断に迷い、どうすればよいか全くわからない状…

「人品骨柄」

人柄や顔立ちなどの品格

「人海戦術」

多人数を動員して物事を成し遂げる方法

「人跡未踏」

まだ誰も足を踏み入れたことがない場所のこと

「人面獣心」

顔は人間だが心は獣のように残酷なこと

「付和雷同」

自分の考えを持たず、他人の言動にすぐ同調すること

「以心伝心」

言葉を使わなくても、お互いの心が通じ合うこと

「会者定離」

会う者は必ず離れる運命にあること

「佳人薄命」

美しい人は病弱であったり、若くして亡くなったりする…

「傍若無人」

周りに人がいないかのように勝手気ままにふるまうこと

「優勝劣敗」

優れた者が勝ち、劣った者が負けること

「優柔不断」

ぐずぐずして物事の決断がにぶいこと

「先手必勝」

相手より先に動くほうが勝つということ

「免許皆伝」

奥義をすべて授けられること

「全知全能」

すべての物事を知り、あらゆる力を持っていること

「八方美人」

誰に対しても如才なく振る舞い、全員に好かれようとす…

「八面六臂」

一人で何人分もの働きをすること

「公平無私」

自分の利益を考えず、偏らずに公正であること

「公明正大」

隠し事がなく、正しく堂々としていること

「六根清浄」

人間の感覚や意識の汚れを洗い流し、清らかにすること

「内憂外患」

国内の心配事と外国からの圧力の両方があること

「再三再四」

何度も繰り返すこと

「切磋琢磨」

仲間同士で励まし合い、互いに学問や人間性を高め合う…

「初志貫徹」

最初に決めた志を最後まで貫き通すこと

「利害得失」

利益と損害、得することと損すること

「前人未到」

まだ誰も到達したことがないこと

「前代未聞」

今までに聞いたことがないほど珍しいこと

「前後不覚」

意識がはっきりせず、どうなっているか分からない状態

「前途洋々」

これからの将来が大きく開けていて、希望にあふれてい…

「勇敢無双」

並ぶものがないほど勇気があること

「勇氣凜々」

勇気に満ちあふれて堂々としている様子

「勇猛果敢」

勇ましく力強く思い切って物事を行うこと

「勸善懲惡」

善を勧め、悪をこらしめること

「十人十色」

人によって考え方や好みが違うこと

「千変万化」

さまざまに変化すること

「千客万来」

次から次へと多くの客がやってくる

「千差万別」

いろいろな種類があり、それぞれ違うこと

「千思万考」

あれこれと繰り返し深く考えること

「千秋万歳」

長い年月。また、長寿を祝う言葉

「千紫万紅」

色とりどりの花が咲き乱れている様子

「千言万語」

非常に多くの言葉

「千軍万馬」

多くの経験を積み、慣れていて強いこと

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 3/8

「千載一遇」

千年に一度しかめぐりあえないような、極めてまれな事…

「半信半疑」

本当かどうか迷って、半分信じ半分疑っていること

「半死半生」

死にかかっている、生きているか死んでいるかわからな…

「南柯一夢」

人生や権力の栄枯盛衰がはかないこと

「単刀直入」

前置きなしに、いきなり本題に入ること

「単純明快」

複雑なところがなく、はっきりしていてわかりやすいこと

「博覧強記」

広く書物を読み、記憶力が優れていること

「危急存亡」

生きるか死ぬか、存続できるか滅びるかの瀬戸際のこと

「危機一髪」

髪の毛一本ほどの差で、非常に危険な状態にあること

「厚顔無恥」

厚かましくて恥を知らないこと

「反面教師」

他人の悪い行いを見て、自身の行動を戒めるための教訓…

「取捨選択」

良いものを選び取り、悪いものを捨てること

「古今東西」

昔から今、そしてあらゆる場所のすべて

「右往左往」

あちこちへ動き回って混乱すること

「同床異夢」

同じ立場にありながら、考えていることや目標が違うこと

「吳越同舟」

仲の悪い者同士が同じ場所にいること

「周章狼狽」

不意の出来事に慌てふためくこと

「呵々大笑」

声を上げて大いに笑うこと

「和光同塵」

自分の知恵や才能を隠して、俗世間に同調して暮らすこと

「和氣藹々」

おだやかな空気が満ちていて、親しげな様子

「和衷協同」

心を合わせて協力し、共に物事を行うこと

「和顔愛語」

穏やかな表情と優しい言葉で、人に接すること

「和魂洋才」

日本固有の精神を大切にしつつ、西洋の学問を取り入れ…

「唯我独尊」

自分だけが優れているとうぬぼれること

「喜怒哀楽」

喜び・怒り・悲しみ・楽しみという、人間のさまざまな…

「喜色満面」

顔全体に喜びの色を浮かべること

「器用貧乏」

何でも器用にできるが、かえって大成しないこと

「四分五裂」

まとまりがなくなりバラバラになること

「四苦八苦」

非常に苦勞すること

「四面楚歌」

周囲が敵や反対者ばかりで、味方が誰もいない孤立した…

「因果応報」

行いに応じて報いがあること

「堅忍不拔」

我慢強く心を変えないこと

「変幻自在」

思うままに姿を変えること

「多岐亡羊」

学問の道が分かれすぎて、真理を見失うこと

「多情多感」

感受性が強く、感情が動きやすいこと

「夜郎自大」

自分の実力を知らずに、いばり散らすこと

「大同小異」

ほとんど同じで、細かい点だけが違うこと

「大器晩成」

大きな器は完成するまでに時間がかかるように、真の才…

「大所高所」

全体を見渡した広い視野や高い見地

「大義名分」

何か行動を起こすときに、それが正しいと主張するため…

「大胆不敵」

度胸が据わっていて恐れを知らない様子

「大願成就」

大きな願いが完全に叶うこと

「天下太平」

世の中が平和で穏やかなこと

「天地創造」

神が世界や万物を作り出すこと

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 4/8

「天地無用」

上下を逆さまにしてはいけないこと

「天地開闢」

世界が初めて生まれたこと

「天変地異」

自然界で起こる異常な現象や災害のこと

「天涯孤独」

身寄りがなく、一人ぼっちであること

「天真爛漫」

飾らず素直で明るい様子

「天衣無縫」

人為的な飾り気がなく、自然で美しい様子

「奇想天外」

普通では考えつかないような、非常に独創的で突飛なこと

「威風堂堂」

威厳に満ちていて、堂々としているさま

「子々孫々」

自分の子からその子、さらにその子へと続く長い年月

「孟母三遷」

教育のために環境を選ぶことが大切であるという教え

「孤城落日」

勢いが衰えて滅びゆくものの例え

「孤立無援」

仲間がおらず、助けてくれる者が誰一人いないこと

「完全無欠」

少しも欠点や不足がなく、完璧であること

「实事求是」

事実に基づいて真理を探究すること

「容姿端麗」

顔立ちや姿が整っていて、非常に美しいこと

「山川草木」

自然界のあらゆるもの

「山海珍味」

山や海で採れる貴重で美味しい食べ物

「山紫水明」

山や川の景色が清らかで美しいこと

「巧言令色」

言葉を飾り、顔色をよくして人にへつらうこと

「平平凡凡」

ごく平凡で、特に優れたところがない様子

「平穩無事」

変わったこともなく、おだやかで平和なこと

「弱肉強食」

強い者が弱い者を犠牲にして栄えること

「得意満面」

自分の思い通りになって、誇らしげな顔つきをしている…

「徹頭徹尾」

最初から最後まで、考えや行動が徹底していること

「心機一転」

あるきっかけで気持ちがすっかり変わることに

「快刀乱麻」

こじれた問題を鮮やかに解決すること

「急転直下」

事態が急激に変化して、解決に向かうこと

「悠々自適」

世俗のわずらわしさから離れて、心ゆくまでゆったりと…

「悪戦苦闘」

困難な状況の中で、苦しみながら必死に努力すること

「悲喜交々」

悲しみと喜びが入り混じること

「意味深長」

言葉の裏に別の深い意味が含まれていること

「意気投合」

互いの気持ちがぴたりと合うこと

「意気揚々」

誇らしげで得意そうな様子

「意気消沈」

がっかりして元気をなくすこと

「我武者羅」

向こう見ずに一つのことへ突き進むさま

「我田引水」

自分に都合のよいように言ったりしたりすること

「才子佳人」

才能に恵まれた男性と容姿の美しい女性

「才氣煥発」

優れた才能が外に現れ出ること

「才色兼備」

優れた才能と美しい容姿の両方を兼ね備えていること

「拔山蓋世」

山を抜き空を覆うほどの、極めて優れた気力や勢いがあ…

「拔本塞源」

物事の根本的な原因を取り除いて、弊害をなくすこと

「捲土重来」

一度失敗した者が、再び勢いを盛り返して巻き返すこと

「換骨奪胎」

他人の作品の形式や発想を借りて、新しい独自の作品を…

「支離滅裂」

まとまりがなく、バラバラで筋道が通っていないこと

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 5/8

「文武両道」

学問と武道の両方に優れていること

「断崖絶壁」

切り立った険しい崖

「新進気鋭」

新しい分野に現れ、意気込みが盛んで勢いがあること

「新陳代謝」

新しいものが古いものと入れ替わること

「日常茶飯」

毎日の食事のようにありふれたこと

「日進月歩」

絶え間なく進歩すること

「旧態依然」

昔のままで少しも改善されていない様子

「明明白白」

隠し立てする余地がなく、非常に明白であること

「明眸皓齒」

澄んだ瞳と白い歯。美人の形容。

「明鏡止水」

曇りのない鏡と静かな水のように、澄みきった落ち着いた…

「春夏秋冬」

一年中、四季のすべて

「昼夜兼行」

昼も夜も休まずに物事を行うこと

「暗中摸索」

暗い中で手探りして方法を探すこと

「暴虎馮河」

素手で虎を打ち、徒歩で川を渡るような、無謀で命知ら…

「月卿雲客」

高位の貴族や公卿の称

「有名無実」

名前ばかりで、実態が伴っていないこと

「有為転変」

この世の物事は常に変化してとどまることがないこと

「有耶無耶」

物事がはっきりせず、あやふやな状態であること

「有言実行」

口に出したことは必ずやり遂げること

「有象無象」

目に見えるものも見えないものも、すべてを含んだ雑多…

「朝三暮四」

目先の違いに気を取られて、結果が同じであることに気…

「朝令暮改」

命令や方針がすぐに変わって一貫しないこと

「未来永劫」

果てしなく長い年月。永遠。

「本末転倒」

物事の根本と枝葉をとりちがえること

「栄枯盛衰」

人や物事が栄えたり衰えたりすること

「森羅万象」

宇宙にある数限りないすべての物や現象

「水月鏡花」

見て楽しむことはできるが、手に取ることのできない風…

「汗牛充棟」

蔵書が非常に多いこと

「沈思黙考」

物事に深く思いを沈め、黙って考えること

「油断大敵」

油断をすると大きな失敗を招くので、決して油断しては…

「泰然自若」

どんなことがあっても落ち着いていて、少しも動じない…

「津々浦々」

全国のいたるところ

「流言飛語」

根拠のない噂が世間に広まること

「海千山千」

世の中の経験を積んでいて悪賢いこと

「深謀遠慮」

将来まで見通した深い計画や思慮

「清廉潔白」

心や行いが清く正しく、少しの不正もないこと

「温故知新」

古いものから新しい知識や見方を得ること

「満場一致」

その場にいる全員の意見が同じであること

「無味乾燥」

面白みや味わいが全くないこと

「無我夢中」

ある物事に心を奪われて、自分を忘れて熱中すること。

「無為自然」

人為的な手を加えず、自然のままの状態にあること

「無理難題」

実現が困難で、処理しにくい要求

「無病息災」

病気をせず、健康で元気なこと。

「熟読玩味」

文章の意味をよく読み味わうこと

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 6/8

「牛飲馬食」

飲食の量が非常に多いこと

「独立独歩」

他人に頼らず、自分の信念に従って進むこと

「独立自尊」

他人に頼らず、自分の尊厳を保つこと

「率先垂範」

人の先頭に立って模範を示すこと

「玉石混交」

価値のあるものとないものが混ざっていること

「理路整然」

話や考えの筋道がきちんとしていること

「生殺与奪」

相手の生死や運命を自由に支配すること

「用意周到」

準備がすみずみまで行き届いていて、手拔かりがないこと

「男尊女卑」

男性を尊び、女性を低く見ること

「画竜点睛」

物事を完成させるための最後の仕上げ

「画蛇添足」

余計なものを加えてかえって台無しにすること

「異体同心」

体は別々でも心は一つであること

「異口同音」

多くの人が、みんな同じ意見を言うこと

「疑心暗鬼」

疑う心があると、何でもないことまで恐ろしく思えること

「白砂青松」

白い砂と青い松がある美しい海岸の景色

「百家争鳴」

多くの人が自由に意見を出し合って議論すること

「百戦百勝」

戦うたびに必ず勝つこと

「百戦錬磨」

多くの実戦を経験して、鍛えられていること

「百折不撓」

何度失敗しても挫けず、信念を貫き通すこと

「百發百中」

矢を百回放って百回とも命中すること

「百花繚乱」

さまざまな花が咲き乱れること、また優れた人物が多く…

「百鬼夜行」

多くの妖怪が夜中に列をなして歩くこと

「盛者必衰」

勢いの盛んな者も、必ずいつかは衰えるという道理

「真剣勝負」

本気で勝敗を争うこと

「知行合一」

知識と行動は一体であるという考え

「破顔一笑」

顔をほころばせてにっこりと笑うこと

「神出鬼没」

鬼神のように、現れたり隠れたりして所在が掴めないこと

「私利私欲」

自分だけの利益や欲望を求めること

「空前絶後」

過去にもなく、将来も起こりそうにない珍しいこと

「竜頭蛇尾」

最初は勢いがよいが、終わりは振るわないこと

「笑止千万」

非常に滑稽で笑い出さずにはいられないこと

「粉骨碎身」

力の限り努力して働くこと

「終始一貫」

最初から最後まで変わらないこと

「絶世美人」

この世に並ぶ者がいないほど美しい女性

「絶体絶命」

どうにも逃げられない苦しい立場のこと

「縦横無尽」

物事を思いのままに、自由自在に行うこと

「羊頭狗肉」

看板と中身が一致しないこと、見かけ倒しであること

「美辞麗句」

うわべだけを飾った美しい言葉

「群雄割拠」

多くの英雄が各地に勢力を張り、互いに張り合っている…

「老婆心切」

相手を思いやるあまり、余計な世話や心配までしてしま…

「老少不定」

死ぬ順番は年齢に関係ないということ

「老成円熟」

経験を積み重ねて、人格や技芸が十分に円満で熟達して…

「老成練達」

経験を積み、物事に慣れて熟達していること

「老若男女」

年齢や性別を問わずすべての人

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 7/8

「臥薪嘗胆」

目的を遂げるために、苦難を忍んで努力すること

「臨機応変」

その場の状況に合わせて、適切に対応すること

「自力本願」

他人の力に頼らず、自分の力だけで目的を達成しようと…

「自問自答」

自分で問い、自分で答えること

「自業自得」

自分のしたことの報いを自分自身で受けること

「自由奔放」

周囲の目を気にせず、自分の思うままに行動すること

「自由自在」

自分の思い通りにできること

「自由闊達」

心が広くて、物事にこだわらずのびのびとしていること

「自画自賛」

自分で自分のしたことをほめること

「自給自足」

必要なものを自分で生産し、自ら消費して生活すること

「色即是空」

この世のすべての現象は仮のものであり、実体はないと…

「花鳥風月」

自然の美しい景色や、それを愛でる風流な心のこと

「苦心惨憺」

ある目的を達成しようと、心を砕いて非常に苦労すること

「茫然自失」

驚きや失望で、自分を忘れてぼんやりすること

「荒唐無稽」

言説に根拠がなく、とりとめもないこと

「薄利多売」

一つ一つの利益を少なくして、たくさん売ることによって利益…

「薄志弱行」

意志が弱く、実行力に欠けること

「虚心坦懷」

先入観を持たず、すなおで落ち着いた心で物事にのぞむ…

「衆議一決」

多くの人の意見が一致して決定すること

「行住坐臥」

歩く・立つ・座る・寝るという、日常生活の日常的な動作

「行雲流水」

物事に執着せず、自然の成り行きに任せて行動する様子

「表裏一体」

二つのものが切り離せず密接な関係にあること

「言行一致」

言っていることと、実際に行っていることが同じである…

「言語道断」

言葉で言い表せないほどひどいこと、もってのほかであ…

「誠心誠意」

うそ偽りのない心で、相手に対してまごころを尽くすこと

「論功行賞」

手柄を調べて、それに応じてほうびを与えること

「諸子百家」

春秋戦国時代に現れた多くの学者や学派の総称

「諸行無常」

この世のすべてのものは変化し、とどまらないこと

「諸説紛々」

さまざまな意見が入り乱れていて、まとまらないこと

「謹厳実直」

慎み深く、真面目で正直なこと

「豪放磊落」

心が大きく、小さなことにこだわらない様子

「豪華絢爛」

きらびやかで非常に美しいこと

「起承転結」

文章や物事の組み立ての順序のこと

「起死回生」

死にかかっている状態から、勢いを盛り返して立ち直る…

「軽佻浮薄」

言動が軽はずみで、浮ついていて落ち着きがないこと

「連戦連勝」

戦うたびに勝ち続けること

「進退両難」

進むことも退くこともできず、窮地に陥っていること

「適材適所」

その人の能力や性質に合った地位や仕事につけること

「適者生存」

環境に最も適したものが生き残るということ

「遺憾千万」

非常に心残りであり、残念でならないこと

「酒池肉林」

贅沢を尽くした、非常に豪華で放蕩な酒宴のこと

「金剛不壊」

非常に堅固で壊れないこと

「金城湯池」

守りが非常に堅く、攻め落とすのが困難な城や場所

「金科玉条」

この上なく大切で、絶対的なよりどころとなる規則や信条

四字熟語 一覧表（早見表）

覚えておきたい四字熟語と意味のまとめ

ページ 8/8

「閉月羞花」

月も隠れ花も恥じらうほどの、並外れて美しい女性の形容

「離合集散」

離れたり集まったりすること

「雲散霧消」

雲や霧が消えるように、跡形もなく消えてなくなること

「電光石火」

動きが非常に素早いことのたとえ

「面従腹背」

表面では服従しているように見せかけて、心の中では反…

「順風満帆」

追い風を受けて帆が満ち、物事が順調に進むこと

「風光明媚」

自然の景色がすばらしく美しいこと

「風林火山」

戦いにおいて状況に応じて素早く動いたり、静止したり…

「風流韻事」

詩歌や書画など、風雅で趣のある遊びや楽しみのこと

「馬耳東風」

人の意見や忠告を聞き流して、気にかけないこと

「鷄鳴狗盜」

つまらない特技を持つ人でも、時には役に立つこと

「鼓舞激励」

力を奮い起こして、相手を励ますこと